

令和5年度 各部各学年学校評価項目に関する評価結果

令和5年度 重点目標

1	STEAM教育の推進と総合的な探究の時間の充実
2	ICTの活用と主体的で個別最適な学習の推進
3	自己指導能力の育成を目指した教育活動の充実
4	well-beingに基づく学校づくりの推進

令和5年度 学校評価項目 達成度：A=達成できた B=概ね達成できた C=あまり達成できていない D=達成できなかった

	取組	達成状況・次年度への課題	達成度	評議員、PTAからの意見 ()内は学校側の回答
部	教務部	＜学校評価設定項目＞ ○ICT化への対応をより進め業務の効率化を図る。…重点項目2・4より	B	○自己評価における達成度・段階評価の基準を明確にする必要があるのではないか。目標を明確な数値目標として定めると評価しやすくなる。(個人の教員評価では評価基準を明確にするともに、自己評価の後、管理職との面談を経て評価を決定している。組織の部署の評価についても今後検討していきたい。)
		＜その他の課題・取組＞		
	情報部	＜学校評価設定項目＞ ○ICTの活用と主体的で個別最適な学習の推進。…重点項目2より	B	○家庭学習の習慣化について学校評価アンケートでは、肯定的な意見が教員35%に対し、生徒・保護者は50%と乖離がある。原因は何か。(0限学習や課外学習の廃止・縮小で、以前と比べて生徒の学習時間は減少しているが、1日1時間でも毎日学習していると、本人は「学習している」と捉えてしまうため意識の差が生じている。)
		＜その他の課題・取組＞		
	学習指導部	＜学校評価設定項目＞ ○スタディサブリの活用による学習時間増と多様な習熟度への対応。…重点項目2より	B	○学校評価アンケートでは、服装に関して生徒と教員で肯定的な意見の割合の乖離が大きいが何が原因か。個人的ではあるが、本校生の服装はよい状態であり、社会人としては許容範囲と感じる。(生徒と教員で正しい服装の解釈がずれている。指導を通して生徒が正しい服装観について身に付けられるよう指導していく。)
		＜その他の課題・取組＞		
	地域連携・探究部	＜学校評価設定項目＞ ○計画的な「総合的な探究の時間」プログラムの実施。…重点項目1より ○外部機関との連携実施。…重点項目1より	B	○市の職員についても頭髪や服装の共通理解は以前より難しくなっている。TPOが大切であると伝えていく。最低限、他人が不快に感じないよう理解を図っている。時代の変化とともに校則も見直す必要はあるが、決められた校則はしっかり守ってほしい。
		＜その他の課題・取組＞		
	生徒指導部	＜学校評価設定項目＞ ○自己指導能力の育成と「多様性の尊重」についての理解。…重点項目3・4より	B	○進学校として国公立大学進学者の人数など数値目標はあるか。進学校として明確に何を目指しているのか。(生徒の多様な進路希望により、国公立大学者数だけを目標にできない。各自の希望する進路目標の実現を目指している。中学校訪問では地元の宇都宮大学を目指す学校、将来地元に戻り活躍できる人材を育てる学校としてアピールしている。)
		＜その他の課題・取組＞		
	特別活動部	＜学校評価設定項目＞ ○生徒の自主的な諸活動を活性化させ、生徒がwell-beingを実感するための支援体制の実現。…重点目標3、4より	B	
		＜その他の課題・取組＞		

	健康指導部	<学校評価設定項目> ○学校美化を通して、well-beingを実感できる環境作りを実現する。…重点目標3・4より	○安全点検（職員）や美化点検（美化委員）を通じて学校美化の推進に取り組むことができた。しかし、日常の学校生活で行き届いていない箇所も見られた。	B
		<その他の課題・取組>	○上記のことから、学校美化で行き届いていない箇所の把握と改善に取り組めるシステムの構築が必要だ。 ○今年度の施設における重大事故は発生していないが、更に安全点検等を充実させる。	
	進路指導部	<学校評価設定項目> ○日々の学習、各種行事などの記録をとらせ、希望進路の決定、実現に生かす。…重点項目3より ○探究活動を通して、自分の将来に関して細部まで検討し、明確化させる。…重点項目1より	○探究活動がメインになり、進路に関する内容が薄まったという意見もあるが、社会を知り自分の興味関心がある分野を掘り下げることによって高校の出口としての進路ではなく、もっと先の進路を見据える機会になったと思う。 ○記録を残させるといった点に関してはまだまだ改善と工夫が必要である。	B
	渉外部	<学校評価設定項目> ○特別活動の支援とPTA活動の活性化。…重点項目4より	○長距離走大会への保護者参加が復活したり、親善レクリエーション大会（ボウリング）が実施できたりと活性化がある程度できた。	
		<その他の課題・取組>	○保間の報告・連絡・相談を一層密にして、PTA・同窓会活動の充実を図りたい。 ○百周年に向けて着実に取り組む。	
学年	1学年	<学校評価設定項目> ○学習習慣の確立と自己調整力の涵養。…重点項目2・3より ○高校生活の充実に向けての基盤の獲得。…重点項目4より	○学習習慣を確立させることは難しく、漫然と学校生活を送っている生徒が多かったと判断する。環境への適応にとどまっており「自己」で「調整」する力を身につけるまでには至っていない。○学習以外で主体的に取り組む活動を見つけ、学業との両立に向けて確固たるものを手に入れている者はまだまだ少ない。	C
		<その他の課題・取組>	○多様な生徒への対応に追われてしまった。これまではなかったであろうことがあるもしくはあり得るということが増えてきている。生徒と向き合う時間の捻出に工夫が必要だろう。	
	2学年	<学校評価設定項目> ○スタディサプリ等のICTを活用した主体的な学びの確立。…重点項目2より ○心身ともに健康な生活。…重点項目4より	○活用促進のため、強調習慣等の取り組みを行うことができた。積極的に活用した生徒もいたが、多くの生徒の主体的な学びに向かわせることは難しかった。 ○1限前に不調を訴え、早退する生徒がいた。日頃の体調管理を指導したい。心の問題を抱える生徒もいたが、担任の先生方を中心に丁寧に対応していただいた。	B
		<その他の課題・取組>	○実力テストや外部模試を欠席してしまう生徒が多かった。学びに向かう姿勢を学年全体でよりよくしていきたい。	
	3学年	<学校評価設定項目> ○進路実現に向けた面談指導の充実。…重点目標2・3より ○学習環境の整備と清掃指導の徹底。…重点目標3・4より	○面談指導について：7月以降、平日課外のため教室を使用できず、面談場所を探すのに苦労した。 ○学習環境の整備：廊下に私物を放置させない、前方の黒板に掲示物を貼らない、配付済みのプリント等を教卓付近に放置しない、学校行事関係の道具や作ったものを長々と残し続けないなど、クラス間で意識の差がないように担任間の共通認識と意識の高揚が必要。	B
		<その他の課題・取組>	○各種課外：参加調査が先行していた。扱う内容やねらいを担当者が説明し、目的意識や必要感をもって選択させたい。指導の常套句になっている「受講状況＝推薦の可否」は分けて考えたい。	